

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	和歌山県立桐蔭中学校	木皮 享
学校所在地		
〒 640-8137 和歌山県和歌山市吹上 5 丁目 6 番 18 号 tel 073(436)7755 fax 073(436)7766		
担当者名		役職名・担当教科
嘉摩尻 寿		教諭 ・ 数学科
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、本県 4 校目の併設型中高一貫教育を行う県立中学校として平成 19 年 4 月に開設し、今年、13 年目を迎えた。併設する桐蔭高等学校は、明治 5 年の「学制」公布により、同 12 年、和歌山県初の県立中学校として設立された旧制和歌山中学校から今年で 141 年目、また昭和 23 年新学制により、桐蔭高等学校が誕生してから 72 年目を迎え、これまでに約 4 万人の有為の人材を世に輩出してきた。卒業生の多くは、政治・経済・医療・科学技術・文化・芸術・スポーツ等、様々な分野で手腕を発揮し、郷土和歌山のみならず、日本さらには世界を舞台に活躍しており、「桐蔭は自ら人生を切り拓く人を育てます」という教育目標を掲げ、社会のリーダーとしての資質を備えた人材の育成に尽力している。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1 年生 80 名	6 名 職員 4 名	情報処理教室、情報 LL 教室
実践研究テーマ		
自ら人生を切り拓く力を育てる授業づくり～授業と家庭学習が有機的に機能し合う授業づくりを通して～		
実践教科等名	単元名	
キャリア桐の葉 I	和歌山の自然・文化を熱く語れる人になろう	
<p>〔キーワード〕</p> <p>桐蔭は自ら人生を切り拓く人を育てます</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 和歌山の自然学習についての概要を知る。和歌山の自然で魅力ある場所とその魅力について考える。</p> <p>(2) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、和歌山の海岸、和歌山の山、和歌山の温泉について調べるとともに、和歌山の魅力をアピールする手法についても調べる。</p> <p>(3) ポスターで訴えるテーマを考える。各自が調べる担当を決める。自分が担当する内容を調べる。</p> <p>(4) ポスターを作る上でのポイントを理解する。調べた内容をポスターにまとめる。</p> <p>(5) ポスターセッションでお互いに発表しあう。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 60 時間 （「和歌山の自然と文化を熱く語れる人になろう」 10 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>(1) 和歌山県世界遺産センター … 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）</p>		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1 和歌山の自然や文化財について学習する目的について理解する。 2 和歌山の自然や文化財で、代表的な場所とその魅力について学習する。 3 自分の興味ある場所を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用し、どのようなことを学び、どのような力を付けてほしいのか説明する。 スライドショーを用いて和歌山の代表的な場所とその魅力について説明する。 	ワークシート
2	4 魅力ある場所の一覧を4つの場所に分け、班で調べたい内容の希望第1から第3まで相談して決める。 5 班で調べる内容を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> 班で調べる内容は、各自がどの領域を調べたいか伝え合い、協議した上で合意形成して決めさせる。 調べた内容はポスターセッションで相互発表することを伝える。 	観察
3 ～ 5	6 ポスター作成に当たって必要な役割分担を行い、インターネットを活用して情報収集を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 魅力だけでなく、その魅力を訴える方法についても調べて考えさせる。 	観察
6 ～ 8	7 これまで調べた情報をポスターにまとめる。 8 発表の分担や練習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 見る人聞く人を引きつける工夫を行うように指導する。 	観察
9 ～ 10	9 調べた内容を他の班の人に説明したり、他の班の発表を聞いたりして、説明の内容や工夫、話し方などを相互に学び合う。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と発表の場所、順番、タイムテーブルについて説明する。 ポスターセッションを通じて自らの理解を深め、相手の反応に応じて臨機応変に対応できるように指導する。 	観察 ポスター

〔単元学習の成果と課題〕

成果 和歌山の自然・文化・偉人について調べることを通して、和歌山のことを深く知り、郷土和歌山に誇りを持つことに加え、調べる・考える・まとめるなどの研究をしたり、発信したりする力を育むことができた。

課題 キャリア桐の葉のカリキュラムが定着し、取り組む内容が具体的に決まっているのがよい面もあるが、何か新しい取り組みを始めるときに、その時間の調整をどうすればよいのかが課題である。

〔世界遺産学習の効果〕

今回、世界遺産マスターや世界遺産センターの皆さんとふれあうことにより、和歌山のことを熱く語ってくださる姿に触れることができた。単に知識を教えていただくだけでなく、文化遺産を後世に伝え残していかなければならないという使命感が生徒にもひしひしと伝わり、たいへん貴重な経験をすることができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

生徒の感想を読んでもわかるとおり、この世界遺産学習を通して高野山や熊野古道の貴重さを実感し、守り伝えていくことの意義は十分に伝わったと思われる。可能ならば、生徒たちと年齢の差が近い世代の方々（たとえば大学生など）が、中学生たちに同じような内容を伝えていただくことができたなら、世代の連続的な継承という観点で、さらに中学生たちの心に入るのではないかと考えた。

様式 2

令和元年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]



最初に高野山に入ったとき、ここは本当に神聖な場所だと思った。世界遺産と人々との関係、自分と他人、自分と自然、自分と外国、快樂と苦行、それぞれに共通点があり、日本人の大切にしている「和」の精神がよく伝わってきた。それぞれが協力し合って、今まで伝わってきたというのを知った。(男子)



高野山の校外学習では、歴史を感じることができました。特に奥の院では神聖な場所にいると改めて感じる事ができました。歴史上の人物のお墓では、秀吉の墓や三成の墓を見ました。マスターの方々の解説を聞き、一人で見学するよりも100倍タメになる話で、とても聞き入りました。(男子)

この校外学習から学んだことは、次の2つです。1つは、世界遺産は国の争いをなくすために守っていかなければならないものであるということ。もう1つは、高野山(熊野)は昔から人々の心の支えになり、人々の生活を見守っていたことである。午前中の講座や現地での説明を聞き、そのことを感じました。(女子)



とても寒かったけど楽しかった。そして、現地の人たちがとても熱心に教えてくださった。特に講座の先生は、とても熱があって面白かった。世界遺産マスターの方も、高野山の凄さや高野山を守って行くことの大切さを教えてくださった。だから僕たちは、次は高野山の文化を守り続けるとともに、高野山の良さを伝えていかなければならないと思った。また高野山の課題として、災害の予防をしていくことが重要だと思う。木が倒れ墓が壊れるなどして、景観が崩れてしまうからだ。このようなことを胸に刻み、高野山を守るため精一杯努力しようと思った。(男子)



今回の校外学習の感想を一言にすると、「おもしろかった」です。ただ楽しいではなく、興味深い内容のお話を細かくしてくれて、全く飽きず、帰って家族に話したくなるような話ばかりでした。今回学んだことを決して忘れず、和歌山の世界遺産に誇りを持ち、多くの人に伝えていけるようにしたいです。(女子)